

2018 年度 S セメスター

英語中級『Mikado』 担当教員：岩崎徹

試験対策プリント

# 目 次

第 1 章 はじめに

第 2 章 『Mikado』を読む前に

第 3 章 『Mikado』全訳

第 4 章 単語集

## 第1章 はじめに

このプリントは、2018 年度 S セメスターに開講された英語中級『Mikado』（岩崎徹教員）の試験対策プリントである。2019 年度以降同じ講座が開講されているかはわからないが、もし開講されている場合は活用していただいて構わない。このシケプリはこの章を含め全 6 章からなる。岩崎教員の使う教材が変わらなければ、教材は左に注意書き、右に本文が載っているものを使う。そのため、第 3 章では本文の全訳、第 4 章では注意書きの全訳を載せている。また、『Mikado』を読む前提となる知識についてのプリントも教材として授業中に配布される。そのため、その前提知識のプリントの概要を第 2 章に載せている。さらに、全体として単語のレベルが高いので、第 5 章に単語集を載せている。授業準備、試験準備など様々な用途があると思われるが、適宜使用していただいて構わない。

なお、この試験対策プリントもある文献を参考に作られている。このプリントだけでなくぜひその文献も読むことをおすすめする。この文献は駒場図書館の地下 1 階に所蔵されている（変更されている場合もあるので一度確認してほしい）。以下にタイトルと著者名を記しておく。

『喜歌劇ミカドー十九世紀英国人がみた日本ー』（小谷野敦著）

上記の文献を大いに参考にしているが、この文献の内容と岩崎教員の内容とで

は食い違う部分が少なからず存在する。この試験対策プリントでは岩崎教員に寄せる形で全訳を行なっている。上記の文献とこの試験対策プリントを比較検討して見るのもよいかもしれない。

最後に付記しておくが、この試験対策プリントを作成した人間は非常に英語が苦手である。さらに日本語も苦手である。そのため、これを読んでいる皆様の方が英語・日本語において優れているという可能性は十分にあり、やや不自然な部分も多々あると思われる。そのため、授業に主体的に取り組むという姿勢は必ず持っていただいたうえでこの試験対策プリントを使用してほしいと思う。完全な依存は避けていただきたい。試験での得点保証もできない。

少しでも皆様のお役に立てることを願っている。

## 第2章 『Mikado』を読む前に

この章では『Mikado』を読む前提知識として必要なことを押さえておく。これは岩崎教員が配布するプリントの前書きにあたる部分を要約したもの、および岩崎教員が授業中に説明した内容をもとに構成されている。

### 作品の概要

1、『Mikado』…サヴォイオペラの代表作で1885年から公演されている。

cf. サヴォイ劇場…オペラを上演する劇場で電気証明など設備が先進的。

2、作者・関係者…William Gilbert(弁護士)、Arthur Sullivan(作曲家)、

Richard D'Oyly Carte

### Lyric(韻)について

verse(韻文)における技術

rhyme(脚韻、一般的)、alliteration(頭韻、まれ)

※ 『Mikado』ではどちらの韻も登場する。よく理解する必要がある。

### 登場人物

1、日本のミカド(道徳に厳しく処刑好き)

- 2、ナンキプー(ミカドの息子だが吟遊詩人と偽りヤムヤムを愛する)
- 3、ココ(ティティプの最高執政官)
- 4、プーバー(様々な役職の長を兼ねる)
- 5、ピシュタシュ(貴族)
- 6、ゴト(貴族、第一部には登場しない)
- 7、ヤムヤム、ピティシン、ピープボー(三人の少女、ココの被後見人)
- 8、カティシャ(老女、ナンキプーを愛している、自称皇太子妃内定者)

#### 本文を読む前に

- 1、『ミカド』は1885年3月14日に初演され672回も上演された。1938年に

はマーティングリーンがココ役を務め映画化された。1986年9月には英国オペラ社が演出家ジョナサンミラーのもと復刻され、1989年3月と1992年には再興されたドイリーカートオペラ社も上演した。1992年版ではミカドをジョンラス、ココをフェントングレイが演じ、ピシュタシュはキーストン警察のような格好だった。その後BBCでも上演されるなど大変ポピュラーな作品である。

2、ミカドが書かれた時ギルバートとサリバンの関係は緊迫していた。客足が遠のく中でドイリーカートには会社復興のための新作オペラが必要だった。

その『イダ姫』も実は『妖術師』や『陪審審理』といったサヴォイオペラの作品の復刻版を待つまでのつなぎであった。

3、ギルバートはカートの要求を受け彼の好きな空想的なオペラを蘇らせようとした。サリバンはこれに反対し、ばかげた筋・めちゃくちゃな状況に辟易しており、音楽下位ではないまっすぐな台本を作るように求めた。

4、ギルバートは「これ以上次のオペラを書き進めない方がいい」と言ったため、サリバンは「君の決定はこれ限りでならばこれ以上の議論は無駄だ」と言った。ドイリーカートは二人の仲を取り持とうとしたが彼の努力もむなしく二人の関係性は終わったかのように見えた。

5、1884年5月のある日、ギルバートは壁にかけてあった日本刀が偶然落ちて

きたのを見て次のオペラの構想を思いついたという。日本を題材に最高執政官を登場人物にすえるオペラを。それはサリバンが納得するだけの真っ直ぐで劇的なものであった。

6、1880年代中頃はイギリスでジャポニズムが広まり、リバティー百貨店や日本村などが賑わっていた。ギルバートはこの風潮に乗りつつ新作オペラの構想をしていった。

7、1907年の伏見宮訪英に際しては、失礼にあたるとしてミカドの上演禁止が言い渡された。これに抗う者の中にはハムレットとデンマーク王室を引合いに出す者もいたが、この禁止令は6週間続いた。ギルバートは、「ミカドの上演を許す皇室を申し出たら間もなく英国と日本はインドをめぐって戦争になってしまうよ」と述べたという。

8、日本のことを書いているオペラではあるが、実際オペラを通じて述べられている風刺はイギリス当国についてのものである。これはプーバーの位置付けからもわかることである。

9、始めのコーラスやミカドの登場歌「宮様」に日本風の音楽は見られるが、その他ほとんどの音楽についてはイギリスの伝統的な音楽である。



- 10、多様な上演があったミカドは上演に際しその都度変えられ、アメリカでの上演の際は「nigger」の語に対する抗議からその部分が変わえられることもあった。
- 11、ミカドはヨーロッパ大陸にも渡りその地でそれぞれアレンジされて上演された。
- 12、アメリカでの初演の際にもその人気から大いに賑わった。
- 13、「スウィングミカド」「ホットミカド」のようなミカドも上演された。
- 14、BBC では少なくとも 45 版の「私は吟遊詩人」を記録しており、演じる役者も多岐に渡った。

cf. 重要な語

Topsy-Turvy

ギルバートのオペラを表現するのに適した言葉。意味は「めちゃくちゃ」。

実際の試験では、この部分は空欄補充として出題された。リバティ百貨店、伏見宮の話など細かいようにも思えるが、実際試験に出題されている。『Mikado』

のエピソードの一つとして頭の片隅に入れておくとい。

### 第3章 『Mikado』 全訳

この章ではいよいよ全訳を扱う。単語・表現・言い回し・歌の処理など難解な部分が続く。しかし、大まかなストーリーを押さえることをまずは最初の目標として掲げておく。授業では時間の都合上第一部しか扱っていないので、ここでも第一部の全訳にとどめておく。なお、歌詞の韻の指摘についてはわかりやすいものも多いため割愛する。

## ※ 以下字が小さいので注意

### 第一部

場面：ティティプのココの宮殿の中庭。日本の貴族たちが日本の絵画に描かれたように立ったり座ったりしている。

#### 貴族たちの合唱

もしあなた方が、我々が誰か知りたいのなら、

我々は日本の紳士だ

多くの花瓶とつぼに

多くのふすまと扇に

我々は生き生きと描かれている

—我々の振る舞いは奇妙で異様だ—

もしあなた方がそう思わないのなら、それは間違っている、ああ

もしあなた方が、糸で操られていると思うなら、

—まるで日本の操り人形のように—

あなた方はこれらのことがわかっていない

これは単に宮廷の礼儀作法だ

もしかしたら、あなた方はこの人だかりを

一日中続けることはできないと思っているのか

もしあなた方がそう思うなら、それは間違っている、ああ

(ナンキプーがとても興奮して入場。日本の弦楽器を背負い手の中に一冊の歌詞集を持って。)

叙唱部—ナンキプー

紳士達、私に教えてください

ヤムヤムという名の、ココの被後見人の

優しい娘がどこにいるのか

私のことをあわれんで、ああ、どうか教えてください

貴族：ああ、そんなことを尋ねる君は何者か。

ナンキ：私の周りに来てください。そしてお教えしましょう。

歌とコーラスーナンキプー

私は放浪の吟遊詩人

バラッドの、歌の、小唄の

切れ端や断片

そして夢のような子守唄を歌う

私のレパートリーは多い

あらゆる感情にまで渡り

あなたの感情の変化にも対応しながら

私は柔軟に歌を歌うのだ

感傷的な気分なのか

ならばあなたとともにため息をつこう

ああ、あわれだ

娘に冷たくされて悲しんでいるのか

ならば私もそうしよう

ああ、あわれだ、あわれだ

あなたの気持ちを汲んで耳を魅了しましょう

愛する者への不安の歌で

そして同情の涙で

私の頬も涙で濡れる

ああ、あわれだ、あわれだ

しかし、もし愛国心を高めようというのなら

きびきびとはっきりした愛国の歌も用意している

我々の国旗が立てられるかもしれない地であればどこでも

他の地方の旗は相手ではないからだ

我々の兵士は群に密集し

決してひるむことのない一たとえそうでもそれを隠すー

そして驚くべきでない、他国が震え上がっても

ティティブの強力な軍隊の前で

コーラス：驚くべきでない(当然のことだ)

そして海の歌を望むなら

我々はイカリを巻き上げよう  
掛け声とともに、風は思い通りだ  
イカリは上げて、舵は風下へ  
帰路に躍動する我々に万歳

コーラス：エーホーエーホー、帰路に躍動する我々に万歳

ものすごい風の中、帆柱に上がると  
陸が恋しくなるかもしれない  
でも船乗り達に最も幸せなときは  
彼らが船から降り  
内陸の町にいるとき  
膝の上にナンシーを抱えて、エーホー  
そして腕を彼女の腰にまいて

コーラス：イカリ巻き上げ機の配置について、さあ行こう

バイオリン弾きが我々の周りで揺れている  
掛け声とともに  
ラムビローの掛け声も(下にはラム酒も)  
帰路に躍動する我々に万歳

私は放浪の吟遊詩人  
(ピシュタシュが入ってくる)

ピシュタシュ：そしてヤムヤムとはどういう成り行きなのか。

ナンキプー：お教えしましょう。一年前私はティティプの町の楽団の一員でした。寄付金のために帽子を持って回るのが私の仕事でした。この優美な仕事をしていたときに私はヤムヤムと出会いました。私たちはすぐに互いに惹かれ合いましたが、彼女は後見人のココ、あの安っぽい仕立屋との婚約を宣言されていたのです。そして私は自分の求愛には望みがないことを知りました。絶望に圧倒されて、私は町を去りました。ひと月前、ココがふしだら罪で死刑宣告されたと聞いたときの私の喜びたるや、想像してみてください。私は、ヤムヤムに私の求婚を聞いてもらえるかもしれないという望みを抱いて、すぐに急いで戻ってきたのです。

ピシュタシュ：確かにココはふしだら罪で死刑宣告されました、ですがつい先ほど、次のような驚くべき状況のもと、彼の死刑宣告は停止され彼は最高執政官という高い位にまで登りつめたのです。

歌ーピシュタシュとコーラス  
我々の偉大なるミカド、徳の高い人  
彼が我々の地を治め始めたとき  
しようと決心した  
ある計画を

若い男は落ち着かせられているのが最も良いかもしれない

だから彼は命令した、簡潔な言葉で

いちゃついたり色目で見たりウィンクしたりした者は皆

夫婦関係にある者は除いて

直ちに打ち首にされるべきだと

そして皆同意すると私は思っている

彼がそのように命令することが正しいと

そして私は正しい

さらにあなたも正しい

ついには皆これ以上ないほど正しいのだ

コーラス：そしてあなたは正しい

さらに私たちも正しい

この厳しい命令が、わかっているでしょう

国中に大きな混乱をもたらしたことを

老若男女も

そして恥ずかしがり屋も大胆な者も

等しく影響を受けた

浮ついた目でウィンクした若者は

もしくは婚姻関係にないため息をついた若者は

直ちに死刑に処される

彼はよく抗議していた

そして認めるだろう、と私は思うが

彼がそうやって抗議したことが正しいということを

そして私も正しい

さらにあなたも正しい

ついには何もかもがこの上なく正しいのだ

コーラス：そしてあなたも正しい

さらに私たちも正しい

だから私たちはすぐに保釈金を払って

地方の刑務所から一人の受刑者を出した

その首は次に

いくらかの口実をもって

首切りの刑に処されることになっていた

そしてこのことは彼を首切り役人にし、そして彼は言った

次に首を切られる者は

他人の首を切ることはできない

自分の首を切るまでは  
そして我々は正しい、あなただってそうだと私は思っている  
こんな風に言うのは  
そして私も正しい  
さらにあなたも正しい  
ついにはすべてが正しい

コーラス：そしてあなたも正しい  
さらに私たちも正しい

(コーラス退場)

プーバー入場

ナンキプー：ココ、あの安っぽい仕立て屋がティティブの最高執政官！ああ、それは市民の得られる最高のくらいではないか！

プーバー：そうだ。我々の論理的なミカドは、犯罪者に死刑を執行する威厳ある法官と、死刑宣告文を作る勤勉な技術工の間には倫理的な差がないことを見て、その二つの機関を一つにまとめすべての判決は今我々最高執政官のもとにあるのだ。

ナンキプー：しかし、こんな放浪の詩人に過ぎない私にこんなことを何でも威張ることなく教えてくださるとはなんとお優しいことか。(見るからに高位の貴族の方なのに)

プーバー：そこには触れないでください。私は、実際のところ、特別傲慢な人間で、アダム以前の先祖の家系以外には排他的な人間だった。私が、祖先を原形質的、根源的、原始的な小球体にまで遡ることができると言えば、あなたもこのことを理解するでしょう。結果的に、私の家系に対する誇りは何か信じられないものです。どうにもならない。私は生まれつき嘲笑的だ。だが、このような欠点を克服しようと一生懸命頑張っている。私は継続的に自分の誇りを克服している。国家の全大臣が、あまりにも誇り高くて仕立て屋の下につけないと言って若くで引退したとき、すぐにこれら全部の役職を私が躊躇なく受け入れないわけなからう。

ピシュタシュ：そして彼らの俸給もか？君ならそうだ。

プーバー：この成り上がり者に、大蔵省第一大臣、最高裁判官、近衛大将、海軍総長、鹿狩り猟犬の責任者、裏階級の宮内官、ティティブの大司教、そして臨時・次期の市長、すべて一つにまとめられた役職で仕えるのが、結果的に私の品位の低い義務なのです。俸給もまとめられている。プーバーは自分に俸給を出している。私は俸給の寵児だ。しかし私はそれをやっている。私は不快に感じているがそれでもやっているのだ。

ナンキプー：それはご立派なことです。

プーバー：しかし私はそれでは収まらないのだ。私は理にかなった条件で中級階級の人々と食事に行っている。私は適度な金で安っぽい郊外のパーティーで踊っている。私はどんなに卑しくても飲食物を受け入れている。また私はとても安い価格で国家機密を売っている。例えば、ヤムヤムについてのさらなる情報は国家機密の上位に来るものなの

だ。(ナンキプーはほのめかしに気づき彼に金を与える)(傍白)さらなる侮辱だが、  
大したことでないと思っている。

歌ーブーバーとナンキプーとピシュタシュー

若者よ、諦めよ

同様にやめておけ

美しきヤムヤムに

求婚してはならない

そうしてはいけない

残念ではあるが

お前には身の清めが足りないのだ

まさに今日この日

学校からヤムヤムは

帰っているだろう

家路についている

太鼓の音と共に

そしてラッタッタ

最高執政官と結婚するために

管楽器は鳴り響き

トランペットも鳴り響く

そして彼らは人目を引くだろう

彼らの結婚の日に

彼女は去ってしまうだろうと皆は主張する

最高執政官と共に

ナンキプーとピシュタシュー：そして管楽器が鳴り響く

全員：彼女は去ってしまうだろう

望みのないことだ

お分かりだろう

お前の立場なら

私は逃げ出すだろう

でも私を責めないで

私は残念だ

喜びを減らしてしまうことになるのは

彼らは婚約を誓うだろう

すぐにでも

実際のところ

今日の午後



ハネムーンは  
あの道化者と  
七時に始まる、だから彼女を避けよう  
ナンキプーとピシュタシュ：そして管楽器は鳴り響く  
全員：彼女は去ってしまうだろう

(ピシュタシュ退場)

叙唱部ーナンキプーとプーバー  
ナンキプー：そして私は旅をしてきた、一ヶ月もしくはそれくらい  
そして分かった、私が心から愛するヤムヤムは  
今日この日ココと結ばれるということを  
プーバー：事実はお前がさっき話したようなことだ  
しかし、ここに彼が来た、立場にふさわしいなりで  
彼が一層の情報をお前に教えてくれるだろう

(プーバーとナンキプー退場)

(貴族たちのコーラス入場)  
最高執政官をよく見よ  
高貴な位と肩書きを備えた名士  
威厳があり強い権限を持った高官  
彼の役割は特別重要だ  
従え、従え  
最高執政官に  
(部下を連れココ入場)  
独唱ーココー  
郡の刑務所から出された  
興味深いほど偶然が重なって  
保釈金により解放された  
自分自身で誓約書を書いた  
強まる風にふわふわと舞い上がり  
時には夢うつつの状態で  
ほとんどの人がたどり着けない高みへ  
長く疲れる踊りを踊る以外では  
確かにそんな男は今までいなかった  
そのような状況下にある男は  
とても冒険のような話  
ほとんど物語のように位置付けられるかもしれない  
コーラス：郡の刑務所から出された

従え、従え

最高執政官に

ココ：紳士たちよ、私はこのような出迎えにたいそう感動している。私は、義務への厳格な献身や好意が続くことを確証できること、さらにそれに値する私の努力によってのみしか、それを信用しない。もし私が専門職のように振る舞うのだとしたら、損失が最終的に全く異なって社会への利益となるような、そんな人間がたくさん難なく見つけれらるであろうということを楽ししく思う。

歌ーココと男のコーラスー

いつか犠牲者は見つけられなければならないかもしれない

私は一つ小さなリストを持っている、小さなリストを持っている

埋められていた方がいいかもしれない社交界の犯罪者

そしてそいつらはずっといなくなっていていい、いなくなっていていい

サインのために書けと言う悪疫のような迷惑な人もいる

軟弱な手でイライラさせるような笑いをする奴らみな

流行を追って大人を困惑させるような子供達みな

握手をする、あんな風に握手をする奴らみな

そして二人きりの時を台無しにするような第三者の奴らみな

全員いなくなっていていい、いなくなっていていい

コーラス：彼らはリストに載っている、彼らはリストに載っている

そしていなくなっていていい、いなくなっていていい

バンジョーを持ったセレナーデの歌手がいる、そして同類も

さらにピアノ弾き、オルガン弾き、彼らは皆リストに入っている

そしてハッカを食べて息を吹き出すような人

彼らは全員いなくなっていていい、いなくなっていていい

それから情熱的な調子で賞賛するようなまぬけ

今世紀以外を、そしてこの国以外を賞賛している

そして青年のような格好で田舎から来るような女性

彼女は「踊れないと思うけど踊って見たいわ」とか言う

そして極め付けは女性の小説家

彼女はいなくなっていていい、絶対にいなくなっていていい

コーラス：彼女はリストに載っている、彼女はリストに載っている

そして彼女はいなくなっていていい、絶対にいなくなっていていい

そしてあの巡回裁判の迷惑もの、まさに今はびこっている

司法でユーモアのある人、そいつもリストに載っている

おかしい奴ら、滑稽な奴ら、私生活で道化役者の奴ら

皆いなくなっていていい、いなくなっていていい

妥協の類ばかりで弁解ばかりの政治家

例えば、何と言ったか、ティンゲンボブとか何とか、どうでも良い

あと、聖何とか、聖何とか、聖何とか、名前は何だったか、ほらあいつだ

この空白を埋める仕事はお前らに任そう

でも誰がリストに載っているのかは実は問題ではない

なぜならみんないなくなっていいからだ、みんないなくなっていいからだ

コーラス：彼らをリストに加えよう、彼らをリストに加えよう

そしてみんないなくなっていい、みんないなくなっていい

(コーラス退場)

(プーバー入場)

ココ：プーバー、私の来たる結婚に伴う祝祭は1週間続かなければならないようだ。私はこれを立派に行いたいし、それにどれだけお金をかけたらいいかお前に相談したい。

プーバー：わかりました。しかしどの立場でですか？大蔵省第一大臣として、宮内長官として、司法長官として、財務大臣として、国王手元金係として、それとも私設秘書として？

ココ：私設秘書として考えてみよう。

プーバー：私設秘書として話せば、町をあげてそれを執り行うべきなので、出し惜しみしてはいけません、盛大にやりましょう。

ココ：確かに、町をあげて行う、それが君のアドバイスか。

プーバー：私設秘書としてはです。もちろんお分かりでしょうが、財務大臣としてなら、しかるべき節約が行われているか見るでしょう。

ココ：なるほど、でも今さっきお前は「出し惜しみするな、盛大にやろう」と言ったよな。

プーバー：私設秘書としてです。

ココ：そして今はしかるべき節約が見られなければならないと言うのか。

プーバー：財務大臣としてです。

ココ：わかった。こっちへ来い、財務大臣に聞こえないように(舞台を横切る)。さて、私の事務弁護士として、この困難にどう対処したらよいか教えてくれるのかな？

プーバー：ええ、事務弁護士としては、ためらうことなく言います、「思い切りせよ」と。

ココ：ありがとう(手を握る)。そうしよう。

プーバー：そのようなことがなければ、司法長官としては、法が破られぬようにするでしょう。

ココ：わかった。こっちへ来い、司法長官から聞こえないように(舞台を横切る)。さて、大蔵省第一大臣としてはどうかな？

プーバー：もちろん、大蔵省第一大臣としては、すべての出費を覆うような特別な投票を提案するでしょう。さりながら、野党党首としては全力を尽くしてそれに抵抗するのが義務です。もしくは、会計係課長としてはこの出費をでっち上げます。一方、監査役長官としては決してそのごまかしを見つけてはなりません。しかし、ティティブの大司教としては私の不誠実を告発し、警視總監としては私を投獄するのが義務です。

ココ：それはかなり厄介な話だ。

プーバー：これらすべての異なった役職を合わせ持つことができないと言っているのではありません。しかし、確かに言えるのは、十分な賄賂によって侮辱されない限りは、それ自体の評価が低められることはない、ということです。

ココ：そのことについては慎重に考えることとしよう。だが、私の花嫁とその友人らが来ている。日本の特徴的な振る舞いにあるように、惨めなおべっかとも言えよう、少しでも儀礼的な挨拶をした方が好ましいだろう。

プーバー：金なくしておべっかなどするか！

(両方退場)

(ヤムヤムの友人らが列をなして入場、ヤムヤムを先頭に続いてピープボー、ピティシン)

少女たちのコーラス

列をなして少女たちがやって来る

学校の束縛から解放されて

それぞれがちょっと心配しているのは

世界はどんなものかっていうこと

世界には困ったことしかないのか

歌にするような悲しみとか

泡のように消えてしまう美しさしかないのか

長くは持たずきっと壊れてしまう

宮殿や喜びも

消えてしまう空想なのか

財宝の輝きも

影に過ぎないのか

私たち女学生、年は十八かそれより下だけど

学校の束縛から解放されて

でもどうなんだろう、どうなんだろう

一体世界はどんなものなのだろう

三重唱

ヤムヤム、ピープボー、ピティシンと少女たちのコーラス

三人：私たちは学校帰りの三人の少女

女学生として十分小生意気

少女の歓喜に満ちている

学校帰りの三人の少女

ヤムヤム：全てが楽しみの源(くすくす笑う)

ピープボー：誰も安全じゃない、だって何も気にしてないから(くすくす笑う)

ピティシン：人生はまさに始まったばかりの冗談(くすくす笑う)

三人：学校帰りの三人の少女

全員(踊る)：三人の少女、みんな不注意者

女学校からやって来た

学校の管理下から解放されて

三人(突然済まして)：学校帰りの三人の少女

ヤムヤム：一人目は花嫁のヤムヤム

ピープボー：残りの二人はその付き添い

ピティシン：三人はみんな合わせて一人みたいなもの

三人：学校帰りの三人の少女

ヤムヤム：三人の少女から一人抜けると

ピープボー：二人の少女が残る、でも彼女たちは

ピティシン：そんなに長くは待てない、人呼んで

三人：学校帰りの三人の少女

全員(踊る)：三人の少女、みんな不注意者

女学校からやって来た

学校の管理下から解放されて

三人(突然済まして)：学校帰りの三人の少女

(ココとプーバー入場)

ココ：遂に私の花嫁がやって来た。(抱き寄せようとする)

ヤムヤム：皆の前でまさかキスしようとしてるんじゃないですね？

ココ：いや、そのつもりだったんだが。

ヤムヤム：(ピープボーへ傍白)おかしいんじゃない？

ピープボー：かなりおかしいわ。

ピティシン：いや、問題ないと思う。何にも始まりは必要でしょう。

ヤムヤム：もちろんこういうことは何も知らないけど、それがもし普通なら別にいいけど。

ココ：いや、全くもって普通だと思う。だよな、宮内長官？(プーバーに近づく)

プーバー：前例があります。(ココはヤムヤムを抱きしめる)

ヤムヤム：終わってよかったわ。(ナンキプーを見つけ彼の方へ走る) ああ、まさかあなたと会えるなんて。(三人の少女は彼の方へ走り握手し皆同時に話す)

(以下三人の同時会話)

ヤムヤム：ああ嬉しいわ。長い間ずっと会ってなかったから。それに、私はちょうど学校の最上級で、三つの賞をもらって、家に帰って二度と学校には戻らないの。

ピープボー：それであなたは婚約してるの？ヤムヤムはしたわ、でも好きじゃないのよ、それにあなたの方がずっとよかったみたい。家に帰って二度と学校に戻らないの。

ピティシン：いろんな所に行って来たのならその話をしてくれない？私たちはずっと学校にいて、でもありがたいことにもう終わるわ。家に帰って二度と学校に戻らないの。

(これらのセリフは一度に一息で言われる)

ココ：失礼、こちらが誰か紹介してくれるかな？

(以下三人の同時会話)

ヤムヤム：ああ、こちらは音楽家で昔は

ピーブー：ああ、こちらは紳士で昔は

ピティン：ああ、こちらはナンキプーで昔は

ココ：ええ、一人ずつお願いしたい。

ヤムヤム：ええ、彼は紳士で、かつてはとてもきれいな演奏をしていた、どこで、どこで

ピティン：海沿いの広場で。

ヤムヤム：そう、確かそれは楽器の名前。

ナンキプー：はい、私はあなたの被後見人ヤムヤムを愛してしまった不幸な人。ああ、あなたのお怒りに触れることは承知しております。

ココ：お怒りとはなんのその、青年よ。ああ、私も彼女を愛している。魅力的な少女だよな。可愛らしい目、きれいな髪。どんなところをとっても皆そう。私の意見が有能な権威によって聞き入れられたことは誠に嬉しい。ありがとう。さようなら。(ピシユタシュに)連れて行け。(ピシユタシュは彼を連れて行く)

ピティン：(プーバーのことをじっと見て)失礼ですがこれは何？何か着けようとしたの？

ココ：かなり膨らんでいる。

ピティン：あら、生きているわ。(驚いて後ずさる)

プーバー：あっちへ行け、少女たちよ。お前らのような少女とは話さないのだ。あっちへ行け。かわいい人がおる。

ココ：紹介させてくれ、プーバー。あれが三人の私の被後見人。真ん中のが私の未来の花嫁。

プーバー：私に何を望んでいます？まさか、キスはしませんよ。

ココ：いやいや、キスはしてはいかんよ。ちょっとしたお辞儀だ、大したことでない、そんな大した意味はない。

プーバー：それは性に合いません。彼女らは若い女性ではなく、まだ少女です。

ココ：まあまあ、頑張ってくれ。高貴な貴族だから。

プーバー：(ココに傍白)では形だけは。(無理をして)あら、少女の皆さん、どうされたんですか？(傍白)ああ、我が原形質的祖先よ！

ココ：よいよい(少女たちは押し殺しながらも笑う)

プーバー：何もおかしくはない。私にとって少女に向かって「どうされたの」などと言うのは大変苦痛だし。株式仲買人以下の位の者に「どうされたの」などと言う習慣はない。

ココ：(少女たちへ傍白)彼を笑わないでくれ。仕方ないのだ、彼は今治療中で。(プーバーへ傍白)気にするな。彼女らにはお前の立場の微妙なところが分からんのだ。

プーバー：我々はよくわかっているということですか？

ココ：そうだと。お前のような重要人物にとってこれがどれほどのものか、私には決して理

解できないのだ。

(ココは奥の方へ行って退場)

四重唱と少女たちのコーラス

ヤムヤム、ピープボー、ピティシンとブーバー

ヤム、ピープ、ピティ：どうかお許してください、我々はとても悔やんでいます

もし礼儀に欠けていたと思うと

そんな位の高いお方に対して

すぐにより礼儀良く致します

ヤムヤム：でも、もちろん若い時には若気の至りもあって然るべし

だから許してください

だから許してください

ピティシン：少女の幸せな春に

厳しく当たらないで

厳しく当たらないで

もし歌って踊りたくなったらそうするわ

タララ(踊る)

少女たちのコーラス：もちろん若い時は

ブーバー：君らが思い出してゆくべきだとは思う

いくらしてもしきれぬほどの敬意を示して

位の高い少数の者に

しかし誰にだって無理だ、君らにだってどうしてできよう？

若者には若気の至りがあって然るべし

それは厳しい

それは厳しい

我々は特権にしがみついている

だから許してくれ

だから許してくれ

もし歌ったり踊ったりするのを断っても

タララ(踊る)

少女たちのコーラス：でも、もちろん若い時は若気の至りもあって然るべし

(ヤムヤム以外は全員退場)

(ナンキプー入場)

ナンキプー：ヤムヤム、やっと二人きりだ！三週間僕は昼も夜も君の探していたよ、君の後見

人が首切りにあったと信じて、でも今日の午後君は彼と結婚するんだって！

ヤムヤム：ええ、そうよ。

ナンキプー：でも君は彼のことを愛していないんだろう？

ヤムヤム：ええ、そうよ。

ナンキプー：せめてものの喜び！でもなんで断らないんだ？

ヤムヤム：そんなことして何かいいことでもある？彼は私の後見人よ。彼は絶対あなたとの結婚なんか許してくれないわ。

ナンキプー：でもそれなら君が大人になるまで待つよ。

ヤムヤム：日本では女は五十にならないと思慮分別があるとは見なされないこと忘れたの？

ナンキプー：そうか、十七から四十九までは思慮分別がないと見なされるのか。

ヤムヤム：それに、さまよう吟遊詩人、管楽器を茶屋の外で吹いているような人なんか、最高執行人の被後見人の夫としてふさわしいとなんか思われるはずがないじゃない。

ナンキプー：でも、(傍白)言おうか、そうだ、彼女なら僕を裏切ったりはしないさ！(周りにも聞こえるように)もし、結局は僕が音楽家ではないって証明されたらどうする？

ヤムヤム：ああ、あなたの演奏を直接聞いたから、すぐに音楽家じゃないって確信したわ。

ナンキプー：さらにもし僕が他でもないミカドの息子だって証明されたら？

ヤムヤム：ミカドの息子！でもだとしたら、どうして殿下は変装されているのですか？そして殿下は何をしていたのです？さらにもう二度とこんなことはなさらないと約束して下さいますか？

ナンキプー：数年前、父の宮廷のカティシャという老女の心を誤って奪ってしまって、彼女は僕の習慣的な愛想の良さを愛情表現だと誤解してしまって、僕に結婚を申し込んできてさ、父の法律のもとで、そして父は、家系がルシ阿斯ジュニアスブルータスでね、僕に彼女と一週間以内に結婚するよう命令してきてさ、さもないと不名誉にも断頭台で死刑だとまで言って、その晩僕は宮廷から逃げ出して第二トロンボーン奏者のふりをして楽団に入って、そこで君が僕を見つけ僕は君に会うという幸せを得たのさ。(彼女に近づく)

ヤムヤム：(後ずさりして)よろしければ、殿下はそんなに私に近づき過ぎない方がよいと思います。いちゃつきに対する法律はかなり厳しいですから。

ナンキプー：でも二人だけだよ、誰も見ていない。

ヤムヤム：そういう問題じゃなくて、いちゃつきは死刑に値するの。

ナンキプー：それは素晴らしいね。(「死刑だって！」もあり得る)

ヤムヤム：法に従わないといけないわ。

ナンキプー：ちくしょう、法律め。(悪魔にでも取り憑かれてしまえ)

ヤムヤム：そうなればいいけど、そうならないの。

ナンキプー：法さえなければ、なんと幸せなことか！

ヤムヤム：確かに！

ナンキプー：法さえなければ、こんな風に隣り合って座って(彼女の隣に座る)

ヤムヤム：半マイルも離れて座らなくちゃいけないくらいなら(舞台を横切り端に座る)

ナンキプー：こんな風にお互いの目をじっと見て(彼女の目を感傷的に見つめる)



ヤムヤム：言葉には出せない愛をため息に出して(ため息をついて彼を愛おしげに見つめる)

ナンキプー：こんな風に腕を互いの腰に回して(彼女を抱き寄せる)

ヤムヤム：そう、法さえなければ。

ナンキプー：法さえなければ。

ヤムヤム：でも実際あるから、もちろん私たちはこんなことできないわ。

ナンキプー：何という！

ヤムヤム：ココと婚約しているのよ。

ナンキプー：ココと婚約だって！

二重唱ーヤムヤムとナンキプー

もしココと婚約していなければ

僕は優しくこう言っていただろう

愛しい人よ、一緒になろう

お互いがお互いのものになろう

僕はすべての地位も立場も一つにしよう

世の中の嘲笑は僕らには決していない

そして、僕の賛美のしるしに

こうして優しくキスをしよう(彼女にキスをする)

共に：僕は(彼は)君に(私に)こうして優しくキスする(キスする)

でも私はココと婚約しているから

こんな風に情熱的に抱きしめるのは

しゃれでは済まないの

折檻されてしまう

共に：折檻、折檻、折檻、折檻

だから、あらゆる誘惑の代わりに

そんな話題にはもう触れないことにしよう

そして何も考えずに

僕は君にこんな風に優しくキスをしよう(彼女にキスをする)

はっきり言うよ

もうこんなことは二度としない

こんな、ああ、こんな、ああ、こんな、ああ、こんな(彼女にキスをする)

共に：こんな、ああ、こんな

(別々の方向に退場)

(ココ入場)

ココ：(ヤムヤムの後ろ姿を見て)彼女だ！私の未来の幸せが皆あの小さな体に詰まっていると思うと！本当はそれ自体ほとんど価値がないように思えるのに！ああ、結婚！(プーバーとピシュタシュ入場)何だ、どうした？私が独白しているのがわからないのか？お前らは

私の彼女への呼びかけを邪魔しているのだぞ！

ピシュタシュ：私はミカドからの手紙を持ってきたのであります。

ココ：(恭しくそれを受け取る)ミカドからの手紙！一体何と言っておるのだ？(手紙を読む)あ  
あ、ついに来てしまった！遅かれ早かれ来るとは思っていたけれども。ミカドは一年間  
もティティブで首切りが行われていないことにお怒りになり、一ヶ月以内に首切りを行  
わなければ死刑執行人の職は廃止し街も村に格下げだと命じてきている。

ピシュタシュ：しかしそうなれば取り返しのつかない破滅を導くことになりますな。

ココ：そうだ、どうしようもならん。誰かをすぐに首切りしなければ。唯一疑問なのは、誰の  
首を切ろうか？

プーバー：ええ、こういうのもあれですが、あなたはすでにいちゃつきの罪で死刑宣告をされ  
ているのですから、あなたがふさわしいかと。

ココ：私だと？何を言っておる？自分で自分など処刑できん。

プーバー：なぜできないと？

ココ：なぜだと？それは、初めに、自ら首切りをするのは、危険とは言わないまでも、かなり  
難しく、さらに第二に、それは自殺であり、自殺とは重罪だ。

プーバー：それは確かに。

ピシュタシュ：その点は留意せねば。

プーバー：ああ、最高裁判までの六ヶ月のうちに議論しよう。

ココ：それに、自分の首切りがどのようにされるのか分からぬ。

プーバー：試してみましょうか。

ピシュタシュ：もし半分までしか切れなくても、大したものですよ。

プーバー：そうしたら、帝国の命令に従順であろうとするしるしにもなります。

ココ：いや、すまんが、私は頑固者だ。公式の首切り大臣として、私の評判がかかっておる。  
だから、専門職として、成功の確証もなしに、首切りを始めることには同意できん。

プーバー：そんな専門職としての良心は、あなたにはいいですが、我々は具合が悪くなります。

ココ：いやいや、そんな具合の悪さ、自分の首を切ることを思えば素晴らしいものだ。

ピシュタシュ：問題は、代わりがいるかどうか。

ココ：代わり？ああ、たやすいこと。(プーバーに)プーバー、君を身代わり長官に任命する。

プーバー：ありがたや。任命によって私の望んだ夢は叶うでしょう。いやでも、どうにかして  
この止めどない野望を抑えなければ。

### 三重唱

ココ	この街は失ってしまう	だが
私の頭は果てぬ計画に満ち	だから皆できる限り	思い出してほしい
共にティティブに新鮮良好	計画を考えねばならぬ	こんなことで死ぬとは
だが私がいなくなれば	氏族を救うためにも	思っていなかった
私が広められる利益も	そうしようと思う	忘れたら無礼だ

だから反対	そしてとても思い焦がれる	だから痛みもなく殺される
だから反対	明るい光に	これがもし本当なら
だから反対	英雄の罰金のように	喜ばしいことだ
プーバー	線引きをしてもいいが	勇気を振り絞って
プライドが高いから	当然の悲しみ	さよならを言おう
家系のプライドに従うなら	断らなければ	さあ行け、さあ見せろ
あなたの代わりに	断らなければ	敵味方なく、何という勇気
喜んでこの世を離れよう	断らなければ	よく知っている、君の仕事
でも家系のプライドは	ピシュタシュ	でも言わせてほしい
否定し脇に置いて	ある日聞いた、紳士は言う	君の役割を頂こう
なくしてしまわないと	二つに切られた罪人は	でもどうでもいい
だが	その致命的な刃物を	どうでもいい
私は行きたい	感じることはほぼない	どうでもいい

厳粛で静かでつまらぬ暗い被告席に座り

悪疫な牢獄に、生涯閉じ込められて

一瞬の鋭い衝撃の感覚を待つて

大きな黒い塊にある安っぽい喧嘩っぽい斬首剣から

(プーバーとピシュタシュ退場)

ココ：これは何と恐ろしいこと！最後の時まで、この私が自分に猶予を与えていたのだ、それも単に自分の街の利益のために、そんな私が今一ヶ月以内に死ぬことを迫られている、それも私が名誉を与えてやった者たちによって。これが公の感謝というものか？これは－(ナンキプーが手に紐を持って入場)。あっちへ行け。何様のつもりだ？私には独白も許されないというのか？

ナンキプー：ああ、続けて。お気になさらず。

ココ：その紐をどうしようというのだ？

ナンキプー：私はこの堪え難い人生を終わらせようとしているのです。

ココ：人生を終わらせるだと？ああ、何というたわごと！どうして？

ナンキプー：私の大好きな女性とあなたが結婚するからです。

ココ：またたわごとを！私は許さん。私は人情味のある男だ、もしお前がそういうことをしようとしたら、すぐにお前を逮捕するように命じる。来い、今すぐやめろ、さもないと私の警護を呼び出すぞ。

ナンキプー：馬鹿げたことを。もし警鐘を鳴らそうというのなら、すぐにでもこの短剣で幸せな死を迎えよう。

ココ：おいおい、やめろ。何と恐ろしいことを。(突然)ああ、冷血な悪党よ、自殺をするというのは、罪を犯すことだとわかって、わかって、わかって、ああ！(考えがひらめいて)身代わりだ！

ナンキプー：何かありましたか？

ココ：お前が死ぬ決心をしているというのは本当に確かなのか？

ナンキプー：本当です。

ココ：お前の決心を揺らがせるものは何もないか？

ナンキプー：何也没有せん。

ココ：脅しも、懇願も、祈りも、すべて無駄だと？

ナンキプー：はい。私の決心はついております。

ココ：では、もし本当にお前が自分の言ったことを意図していて、完全に死ぬ決心がついてい  
るのだとしたら、そして、全く何もお前の決心を揺るがすものがないのだとしたら、自  
殺を犯して自分自身を無駄にするな、その代わりに、公式の最高執政官の手で立派にも  
首を切ってもらいなさい。

ナンキプー：私にはそれで何の利益があるのかわかりません。

ココ：わからないだと？聞きなさい。お前を一ヶ月間生かしてやるから、その間は私の金で鬪  
鶏のように暮らしたらよい、そして時が来たら華々しく公式の葬式を開こうーお前が  
中心人物だー誰もお前の名声を奪おうとはしない、その後、行列ができてー楽隊、死者  
のマーチ、吊いの鐘が鳴る、少女は皆泣く、ヤムヤムは気が狂うーそして、全てが終わ  
ったら、公式に祝賀が行われ、夜には花火が打ち上がる。お前はそれらが見られないけ  
れども、やはりそれはそれだ。

ナンキプー：ヤムヤムは本当に私の死に対して気が狂ったりするのでしょうか？

ココ：私はそう確信している。彼女はこの世で最も優しい心を持った少女だ。

ナンキプー：彼女に痛みを味合わせてしまうのは残念だ。たぶん結局は、私が日本を抜け出し  
て二年ほどヨーロッパを旅行でもしたら彼女のことをうまく忘れられるだろう。

ココ：ああ、そんな簡単にヤムヤムのことを忘れられないだろう。そして、結局は愛を損なっ  
た人生ほど惨めなものはない。

ナンキプー：そうです。

ココ：ヤムヤムのいない人生、ああ、なんとばかばかしい。

ナンキプー：でも、それに耐えている人が世界には大勢います。

ココ：卑しい悪魔、そうだ。その数に入ろうとしないのは全くもって正しい。

ナンキプー：(突然)その数には入らない。

ココ：高貴な方！

ナンキプー：ではこうしましょう。明日ヤムヤムと結婚させてください、そして一ヶ月後首を  
切ってください。

ココ：いやいや、ヤムヤムは譲れない。

ナンキプー：いいでしょう。もし譲れないのなら私も。(紐を準備する)

ココ：やめろやめろ、ちょっと聞け、落ち着け。これからヤムヤムと結婚しようという私がど  
うしてヤムヤムとお前との結婚に同意することができよう？

ナンキプー：私の友よ、彼女は一ヶ月後には未亡人となるのだから、そこで結婚したらいい。  
ココ：もちろんそうだ。よくわかっている。だが待て。一ヶ月間の私の立場は何と喜ばしくないことか、何と喜ばしくないことか。  
ナンキプー：それが終わった後の私の立場と比べれば半分にもならぬ、その喜ばしくなさ。  
ココ：だが、待て、いや、わかった。結局一ヶ月間私の結婚を延期すればよいのか。だが、お前が彼女に私への偏見を持たせたりしないだろうな？わかっていると思うが私は彼女を良き妻となるよう教育し、彼女も私を賢明で善良な人間と見なすように教えられてきた。今さら彼女の見方がその点においてかき乱されるのは好まんよ。  
ナンキプー：安心してください、彼女が私から真実を聞くことは決してありません。

フィナーレ

(コーラス、プーバー、ピシュタシュ入場)

コーラス

厳しい表情で

そして憂鬱な足取りで

私たちは来ました

あなたがどんな決定をしたか知るために

ためらわないで

あなたが選んだ人の名前を言うのを

恐ろしい運命

やはりあなたは苦しむでしょう

プーバー：あなたがしようとしていることを尋ねるため、我々は時間通りに現れた。

ココ：喜べ、紳士よ。私は志願者を見つけたのだ。

全員：日本で言えば、賛意、賛意、賛意。

ココ：(彼を紹介する)それはナンキプー。

全員：万歳、ナンキプー。

ココ：彼で間に合うかな？

全員：もちろん、もちろん、彼なら間に合う。

ココ：もし私がヤムヤムを引き渡せば彼は自分の命を譲るという

だが私はその少女のことを優しい情熱を持って愛している

だから喜んで彼女を譲ろうというのはできないだろう

彼女を割り当てるということも

もし私が

いまだにより優しい情熱を持って自分自身を愛していないのだとしたら

(ヤムヤム、プーバー、ピティシン入場)

全員：ああ、そう

彼はいまだにより優しい情熱を持って自分自身を愛している。

ココ：(ナンキプーに)連れてゆけ。彼女は君のものだ。

(ココ退場)

アンサンブル

ナンキプー：恐ろしい雲はどこかへ行ってしまった。

ヤムヤム：そして明るく輝く夜明けの日よ。

ナンキプー：でもまたすぐに夜が来てしまうかもしれない。

ヤムヤム：でもまだ一ヶ月も午後があるわ。

ナンキプー、プーバー、ピシュタシュ、ヤムヤム、ピティシン、ピープー

そして集まった皆で

我々の喜びを分かち合おう

陽気な歌と

陽気な踊りとともに

コーラス：喜びに満ちた叫びと鳴り響く歓呼の中で

我々の短い生活を始めよう

ピティシン：一日、一週間、一ヶ月、一年

ヤムヤム：近いか遠いか、近いか遠いか

プーバー：人生のタベはかなりすぐにやって来る

ピティシン：少なくともハネムーンまでは暮らせるわ

全員：そして集まった皆で

コーラス：喜びに満ちた叫びとともに

独唱－プーバー

あとひと月でお前は死なねばならない

もしココの言うことが本当なら

それは空虚な賛辞に終わろう

「ナンキプーよ末長く」などと泣き叫ぶのは

だがひと月の間お前は生きなければならない

同胞の市民として

三三九度の祝杯をお前に与えよう

「末長く、その時まで」

(プーバー退場)

コーラス：全ての幸運があなたに訪れますように

健康と財産も訪れますように

なすこと全て成功しますように

末長く、その時まで

(踊る)

(カティシャがメロドラマ風に入場)

カティシャ：お祭り騒ぎはおやめ。皆私の側につきなさい。

コーラス：ああ、誰だ、あの邪悪な目をしたのは。

雨で祝祭も台無しになってしまうのか。

カティシャ：私はあの私を裏切った恋人を求めるわ、ナンキプー。

ああ、なんと愚かな。決して飽きることの無い楽しみから避けようとは。

コーラス：あっちへ行け、そなたの痛烈なやり方をそのままにはしない。

カティシャ：こっちへ来なさい、ああ、浅はかで愚かな。喜びの方へ戻って来なさい。

コーラス：あっちへ、あっちへ、不快なやつめ。

ナンキプー：(ヤムヤムに傍白)ああ、あれがカティシャ。

前に行っていた女だよ。(行こうとする)

カティシャ：いいえ、行かせないわ。

この腕であなたのことを抱きしめておくわ。

歌ーカティシャ

カティシャ(ナンキプーに向かって)

ああ、なんと愚かな

私の神聖な喜びから逃げるとは

ああ、なんと盲目的な

いかなる釣り合いも見えていないとは

ああ、なんと軽率な

半面から全体を判断しようとは

ああ、なんと卑劣な

愛の最も軽い悲しみを惜しむとは

あなたの心を解き放て

ああ、愚かな、ああ、盲目的な

私の立ち位置を与えなさい

ああ、軽率な、ああ卑劣な

コーラス：もし彼女があなたの花嫁なら彼女の立ち位置を返しなさい

ああ、愚かな、ああ、盲目的な、ああ、軽率な、ああ、卑劣な

カティシャ(ヤムヤムに向かって)

桃色の頬、それは

知恵ある人間を支配する

明るい目、それは

英雄的な神経を持つ人間を愚かにする

バラ色の唇、それは

教養に満ちた年月を嘲笑する

滑らかな舌、それは

正しく聞く者に警告する

汝の運命は近い

桃色の頬、明るい目

汝の鐘声は鳴っている

バラ色の唇、滑らかな舌

コーラス：もし彼女の言うことが本当なら、汝の鐘声は鳴っている

桃色の頬、明るい目、バラ色の唇、滑らかな舌

ピティシン：どこかへ行行って、そして探求を追い求めるのもやめて

我々のうまく表現された意図からは

あなたは我々を変えることはできない

あなたの結婚についての考え方の状態

あなたが避難する人に向けられたもの

でもそれは我々には関係ない

彼はヤムヤムと結婚するのよ

全員：ヤムヤムと

ピティシン：あなたの怒りはどうぞ埋め去ってしまっ

だっみんな楽しむのだから

あなたは屈した方がいいわ

全員：屈しろ、屈しろ

ピティシン：そして、我々の歓喜の中に加わりなさいよ

この件についてはどうぞ口をつぐんで

全員：つぐめ、つぐめ

ピティシン：世には多く

一文の金のために結婚する人がいる

あなたを導く言葉は「沈黙」

全員：沈黙、沈黙

ピティシン：世(海)にはいくらでもいい男(魚)はいるわ

全員：この件についてはどうぞ口をつぐんで

独唱—カティシャー

喜びの時間は

消え去ってしまった

静かなる悲しみの中で

私は孤独に生きている

私が抱いていた希望は

皆死んでしまった

そして全て消え去った



決して消えることのない愛以外は  
ああ、不実な者よ、この屈辱はお前を後悔に導く  
ひざまずいてお前は慈悲を求めて懇願するだろうがそれは無駄だ  
お前の偽りの仮面を剥いでやろう

ナンキプー：(傍白)騒動が訪れる

カティシャ：驚くべき知らせに身構えるがいい

ナンキプー：(傍白)どうやって敵を未然に阻止しようか

カティシャ：虚勢とは違って彼は吟遊詩人ではない

ヤムヤム：(傍白、何かひらめいて)はは、知っているわ

カティシャ：彼は息子、汝らの

(ナンキプー、ヤムヤム、コーラス、日本語で歌って彼女の声を遮ろうと妨げる)

全員：おに、びっくりしゃっくりと

カティシャ：この猛風を妨げようとしても無駄だ

彼は唯一の息子、お前らの

全員：おに、びっくりしゃっくりと

カティシャ：台無しにしよう

全員：おに、びっくりしゃっくりと

カティシャ：お前らふざけよって

彼は息子

全員：おに、びっくりしゃっくりと

カティシャ：お前らの

全員：おに、びっくりしゃっくりと

カティシャ：息子、お前らの

全員：おに、びっくりしゃっくりと、おやおや

アンサンブル

カティシャ

汝らよ、わめくがいい

汝らよ、叫ぶがいい

汝らよ、怒りを

ほとばしらせよ

汝らが最悪を尽くしても、私の復讐心が

最後に勝利をおさめよう

悲痛に備えるがいい

お前ら傲慢な貴族たちよ

すぐに私は

ミカドの後見に行く

私の復讐心が有終の美を飾る

私の復讐心が有終の美を飾る

他の者たち

これ以上何も聞かない

不吉なフクロウ

我々は喜び舞い上がる

お前のしかめ面とは違って

祝祭の響きは

最後に勝利をおさめよう

あっちへ行け

仲間を集めればいい

悲痛を広め歌えばいい

我々に陰鬱な言葉などいらない

陰鬱な調子で

喜びが至る所に満ちるのだ

(カティシャ、狂った様に急いで舞台を走り左右の群衆をかき分け舞台後方で決めて終わる)

## 第4章 単語集

この章では、『Mikado』第一部で登場した単語のうち、作成者の独断と偏見で難しいと思われた単語を集めている。参考程度の使用にとどめて頂きたい。

### 英語中級単語集(参考)

#### A

abject 惨めな  
ablution 禊  
absurd ばかばかしい  
acting 代理の  
adamant 頑とした  
adieu ごきげんよう  
admiral 海軍将官  
admiration 感嘆、賞賛  
adore 大好きである  
advance 前進する  
adventurous 冒険好きな  
affability 愛想の良さ  
affair 関心事  
affection 愛情  
alas ああ  
allot 割り当てる  
all the same 同じことだ  
alone だけ  
ancestral 先祖の  
ancestry 家系  
anomaly 異常なもの  
apologetic 弁解の  
apostrophe 頓呼法  
appall ぞっとさせる

archbishop 大司教  
arrive 達する  
aspect 様相  
assemble 集まる  
assist ～の側につく  
assume 装う  
atomic 原子の  
at stake 問題で  
attach 取り付ける  
attain 獲得する  
attendance 付き添い  
attorney-general 司法長官  
auditor 監査役  
autograph サイン  
aver 断言する  
await 待つ  
awkward 厄介な

#### B

bail 保釈金  
ballad バラッド  
banner 旗  
base 卑劣な  
bearer 運搬人  
bedew 涙で濡らす  
behead 打ち首にする  
behold じっくり見る

betroth 婚約を言い渡す  
bid 勧誘  
blight だめにする  
blighted 損なった  
blind 盲目的な  
blow 騒動  
bold 大胆な  
bound 跳躍、躍動  
bravado 虚勢  
bray 鳴り響く  
breeze そよ風  
bribe 賄賂  
bride 花嫁  
brim ふち  
brood のしかかる  
buckhounds 鹿狩用猟犬  
buffoon 道化者  
bundle かたまり  
business 成り行き  
by and by 間も無く

#### C

cap ふた  
capacity 立場  
capital 極刑に値する  
capstan イカリ  
captivate 心を奪う

care 気にする  
career 生涯  
catalogue 目録  
cease やめる  
ceremonial 儀式  
chamberlain 宮内官  
chancellor 財務大臣  
cheer 歓呼  
cherish 抱く  
chippy いらだった  
chopper おの  
chord 調子  
clan 一族  
clown 道化役者  
cloy 飽き飽きする  
commander 司令官  
commence 始まる  
commissioner 長官  
competent 有能な、十分な  
compliment 儀礼的挨拶  
comply with 従う  
concern 関係する  
condemn 有罪判決を下す  
condescend 威張らない  
condign 当然の  
confuoco 情熱を持って  
connubial 夫婦関係にある  
conscientiousness 良心  
continually 絶えず  
continuance 続くこと  
contribution 寄付金  
contrive うまく～する  
convict 受刑者  
convince 確信させる  
cook でっち上げる  
county 郡の

court 宮廷  
courtyard 中庭  
crash 鳴り響く  
credit 功績を認めること  
creditable 賞賛に値する  
crown 王位に就かせる  
custody 監禁  
customary 習慣的な  
cut a dash 人目を引く  
**D**  
dagger 短剣  
dawning 夜明け  
deadly 致命的な  
dear かわいい人  
decapitate 首を切る  
decree 命令する  
defer 従う  
defy 反抗する  
degrading 品位を落とす  
delicacy 繊細さ  
delicate 優美な  
delight 歓喜、楽しみ  
demure 取り澄ました  
denounce 告発する  
descent 家系  
deserve 値する  
desist やめる  
despair 絶望  
deuce ちくしょう  
diffuse 広める  
dignify 威厳をつける  
diminution 減少  
dine 食事する  
directly すぐに  
discharge 果たす  
discover (開幕描写)

discretion 思慮分別  
disguise 変装させる  
dishonesty 不誠実  
dismal 陰鬱な  
dismay 落胆  
dispatch 殺害  
display 見せること  
distract 狂わせる  
disturb 乱す  
disrespect 無礼  
distinct 全く異なる  
distinction 名声  
dock 被告席  
dole 悲しみ  
doom 運命  
do with 扱う  
draw 関心を奪う  
draw the line 一線画する  
dreadful 恐ろしい  
due しかるべき  
dull 沈んだ  
dumb 口をつぐんだ  
**E**  
earnest 兆し  
echo こだま  
embark on 着手する  
enfold 抱く  
entreaty 懇願  
equipoise 釣り合い  
equivalent 相当する  
ere しないうちに  
estimation 評価  
etiquette 礼儀  
exalted 位の高い  
exchequer 財務省  
exclusive 排他的な

executioner (死刑)執行人

**F**

fail in 欠けている

fair 美しい

faithless 不実な

favor 促進する

festivity 祝祭

fiddler バイオリン弾き

figure 現れる、価格、人物

fighting-cock 闘鶏

flabby 軟弱な

flee 逃げる

fling 軽い気持ちの試み

flirt いちゃつく

flit 飛ぶ

floor 困惑させる

foe 敵

foil 未然に阻止する

fondly 優しく

for good 永久に

forthwith 直ちに

fraud 詐欺

furiously 荒れ狂って

**G**

gale 強風

gambado ふざけ

genius 天才、守護

girlish 少女の

giuoco 愉快地に

glee 歓喜

globule 小球体、小滴

gloomy 憂鬱な

glory 輝き

good 十分な

go off 去る

grace 優雅

grain 色合い

grand 華々しい

gratitude 感謝

grief 悲嘆

groom 宮内官

grovel おべっか

growl うなり

grudge 惜しむ

guardian 保護者

**H**

hail 万歳

hallowed 神聖な

handsomely 立派に

hard 厳しい

haughty 傲慢な

headsman 首斬り役人

heave 上げる

helm 舵

herald 先触れをする

heroic 英雄的な

highness 殿下

homeward 帰路の

horde 大群

howl わめき声

howling ものすごい

humane 人情ある

humorist ユーモアのある人

hurrah 万歳

**I**

idiot まぬけ

ignominiously 不名誉に

ill-favoured 不快な

ill-omened 不吉な

imperfect 不完全な

imperial 帝国の

inaugurate 新しく始める

inconceivable 信じられない

industrious 勤勉な

inland 奥地の

insatiable 貪欲な

insult 侮辱

intention 意図

irretrievable 挽回できない

**J**

jar つぼ

jolly 楽しい

joyous 喜びに満ちた

judge 裁判官

**K**

knell 鐘声

**L**

laughing 陽気な

lee 風下

leer 色目で見る

liberate 解放する

lifeless 死んだ

load 負わせる

lord 貴族

lore-laden 教養に満ちた

lowly 卑しい

lullaby 子守唄

**M**

maid 少女

maiden 娘の

majesty 陛下

man 配置する

mark しるし

matrimony 結婚

melodramatically メロドラマ風に

mercy 慈悲

merge 一つにする

merry 陽気な

minion 寵児  
minstrel 詩人  
misconstrue 誤解する  
miserable 惨めな  
misfortune 不幸  
moderate 適度な  
modify 修正する  
mortify 克服する  
mow 刈る  
mum 沈黙

## N

nigh けちな  
noble 高貴な  
nonsense たわごと  
nought 決してない  
nuisance 迷惑な人

## O

observe 注目する  
offender 犯罪者  
opposition 野党  
organist オルガン奏者  
outpour 流出  
overwhelm 圧倒する

## P

pact 約束  
parade 広場  
pardon 許す  
patch 断片  
paymaster 会計課長  
peculiar 奇妙な  
penny 金銭  
peppermint ハッカ  
perish 死ぬ、消滅する  
perjure 偽証する  
personage 名士  
pert 小生意気な

pestilential 悪疫を生ずる  
pine 思い焦がれる  
plight 結婚を誓う  
please どうか～  
plot 計画する  
potent 有力な  
praise 賞賛する  
pre-Adamite アダム子孫以前の  
prejudice 偏見を持たせる  
prerogative 特権  
present 紹介する  
pretext 口実  
primordial 根源的な  
privy 内密の  
procession 行列  
proclaim 宣言する  
professionally 専門職の様に  
prosecute 訴追する  
prosper 栄える  
protestation 主張  
protoplasmal 原形質の  
province 田舎  
puff 吹き出す  
punctually 瞬間的に

## Q

quail ひるむ  
quaint 異様な  
quartet 四重奏  
queer 奇妙な  
quest 探索  
quit 去る

## R

race 家柄  
rank 位置する  
rapture 有頂天  
rash 軽率な

reasonable 無茶を言わない  
reception 歓迎  
recitative 叙唱部  
recognizance 誓約書  
recollect 思い出す  
refreshment 飲食物  
reign 支配する  
rejoicing 祝賀  
remarkable 驚くべき  
reprieve 刑執行を停止する  
resign やめる  
resolve 決心する  
respite 猶予する  
retail 小売する  
retreat 後ずさりする  
revel お祭り騒ぎ  
reverentially 恭しく  
revolt 不快を感じる  
riches 財産  
rife はびこって  
rightly 正しく  
ringing 鳴り響く  
roar どよめき  
roving 移り気の  
rue 後悔する

ruin 台無しにする

## S

save 以外(=except)  
scaffold 断頭台  
scale 登る  
scansion 詩の韻律  
scheme 計画  
scholastic 学校の  
scorn 軽蔑する  
scoundrel 悪党  
scowl しかめ面

screen 屏風  
screw 搾取する  
seminary 学校  
sensation 感覚  
sentence 宣告  
sentimentally 感傷的に  
serenade セレナード  
serry 密集させる  
serve 仕える、勤めを果たす  
shallow 浅はかな  
share 分け前  
shred 断片  
shun 避ける  
singular 特異な  
slain 殺害する  
snatch 小唄  
sneer あざ笑う  
soar 高まる  
solemn 厳粛な  
solicitor 事務弁護士  
soliloquize 独白する  
something たいしたもの  
sought 探す(過去形)  
source 源  
sphere 球  
spoil 台無しにする  
square 合せる  
station 立ち位置  
steady しっかりさせる  
stern 厳しい  
stint 出し惜しみする  
stockbroker 株屋  
straight 直ちに  
stride ひとまたぎ  
stroll 放浪する  
study 努力

substitute 代わりになる  
suburban 郊外の  
succinct 簡潔な  
succumb 屈服する  
sue 懇願する  
sufficiently 十分に  
suit 求婚  
summon 呼び出す  
supple 柔軟な  
surrender 引き渡す  
swell 膨らむ  
sympathetic 同情の  
**T**  
tailor 仕立屋  
tea-house 茶室、茶店  
teem 満ちている  
tempest 大騒ぎ  
temptation 誘惑  
tender 優しい  
term 人間関係  
terminate 終わらせる  
tête-à-tête 二人だけの  
theme 話題  
thereupon するとたちまち  
throng 群衆、多数  
thy そなたの  
tickle くすぐる  
tis It is のこと  
titled 肩書きのある  
toast 祝杯  
toddle 去る  
toko 折檻  
toll 吊いの鐘を鳴らす  
tooth and nail 全力で  
tornado トルネード  
torrent 連発

touched 感動する  
train 列  
trammel 束縛  
trance 夢うつつ  
treasury 大蔵省  
treatment 治療  
tremble 震え上がる  
tremendous すごい  
triumphant 勝利をおさめた  
tutelary 守護  
twere It would be のこと  
**U**  
unbind 解放する  
unendurable 耐えられない  
unhesitatingly 躊躇せずに  
unite 一体になる  
unutterable 言葉で表せない  
unwary 不注意な  
upstart 成り上がり者  
**V**  
vengeance 復讐心  
violate 違反する、破る  
virtuous 徳の高い  
vital 重要な、活気ある  
vow 誓う  
**W**  
waft ふわふわする  
wandering 放浪の  
ward 被後見人  
weary 疲れた  
wed 結婚する  
wedlock 結婚生活  
whereby それによって  
why なんてこった、ああ  
widow 未亡人  
wind instrument 管楽器

withdraw 脱退する

will 言い残す

willing 気持ちを汲む

woe 悲痛

woo 求婚する

worldly 世の中の

wrath 激怒

Y

yam ヤムイモ

ye 汝ら

yield 譲る